

2017年1月18日
九州共立大学

北九州市と本学はスポーツ振興等に関する包括連携協定を締結しました。

このたび、北九州市と本学は「スポーツの振興等に関する包括連携協定」を締結することとなり、平成29年1月18日（水）、北九州市役所本庁舎において北橋健治北九州市長と本学奥田学長出席のもと、締結調印式が行われました。

今回の協定は、日本での開催が決定している2019年のラグビーワールドカップ並びに2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツに関する人材育成・研究、スポーツの振興及びスポーツによるまちのにぎわいづくり等により、相互の発展を目指して、将来に亘り連携・協力することを目的として締結するものです。

北橋市長はあいさつの中で、「本市で唯一スポーツ学部を設置している九州共立大学と、スポーツを通じた連携協定を締結することができて大変うれしく思います。これを機会に、例えば各国ナショナルチームが本市で合宿を行う際の大学施設の利用やそれに伴う大学とトップアスリートとの交流、あるいは各国のスポーツ指導者との人材交流を進めるなど連携していくことで、本市の更なるスポーツ振興に繋がりたいと思います。」と述べ、奥田学長は、「この連携協定の締結を契機とした人材交流や外国のスポーツ系学部を有する大学との国際交流を通じて、本学の学生の教育研究の幅が大きく広がるものと期待しています。北九州市のスポーツ振興のために本学ができることを積極的にさせて頂きたいと思えます。」と述べました。

この協定に基づき、早速2月には、ミクニワールドスタジアム北九州のオープニングイベントとして開催されるスーパーラグビーのヒト・コミュニケーションズ サンウルブズと、対戦するジャパンラグビー トップリーグオールスターズの選手が本学の施設を利用した練習を行うことになっています。

